

附属機関等の会議録

会議の名称		令和 5 年度田川市地域福祉計画策定・推進会議
開催日時		令和 5 年 7 月 7 日（月） 13:00～14:20
開催場所		田川市役所 1 階 大会議室
出席者	委員	学識経験者、保健医療関係者、福祉関係者、市民代表者等 7 名
	事務局	保健福祉課 福祉政策係
	その他	安全安心まちづくり課、人権・同和対策課、高齢障害課、保健センター、田川市社会福祉協議会
議事内容		<p>1 資料に沿って事務局から説明後質疑応答</p> <p>(1) 田川市地域福祉計画関連事業の進捗管理について</p> <p>ア 防災体制充実事業について</p> <p>・社会福祉協議会の災害ボランティアセンター運営事業との連携や情報共有についてどうなっているか。</p> <p>⇒災害ボランティアセンターは、災害発生時、市から社会福祉協議会へ要請し、設置する協定を結んでいる。社会福祉協議会が行っている共有訓練に市も参加しており、災害発生時には円滑な対応ができるよう普段から連携を図っていきたいと考えている。</p> <p>イ 男女共同参画推進事業について</p> <p>質疑等なし</p> <p>ウ 認知症施策推進事業</p> <p>・認知症カフェにはどのような方が来ているのか。</p> <p>⇒運営主体によって参加者は様々である。例えば、「寄り合いカフェ 癒・気・多」は見立病院内にあるため、認知症の相談等で受診された当事者や家族が帰りによることが多く、その他のカフェは地域で行っているため、認知症予防を目的に通う方が多いと聞いている。</p>

エ I O T電球による高齢者見守り支援事業

- ・訪問依頼があった場合、ヤマト運輸はどのタイミングで訪問するのか

⇒訪問依頼があれば直ちに訪問することになっている。現時点では要請の実績はない。

- ・市の助成終了後、利用者の自己負担額はいくらか。

⇒令和7年3月31日までは市の助成対象。その後は個人契約となり、利用者が毎月1,078円負担する。

オ 健幸ポイント事業（アンバサダー養成・たがたん健幸ポイント参加者）

- ・予算上限の2,000人を超えた場合、どうなるのか。

⇒昨年度はマイナンバーカード所持者について、地域振興券を獲得ポイントの2倍付与するサービスを行ったため、参加人数が大幅に増えたと考えられる。今年度は昨年度ほど参加人数が増加しないのではないかと見込んでいるが、上限を超える場合は補正予算などで対応したい。

カ 子育て世代包括支援センター運営事業

- ・産前産後サポートの数は、当初の目標値より大幅に増えているようだが、このまま増え続けても体制として問題ないのか。

⇒コロナの影響で個別対応としてるため回数としては増えているが、相談内容によって助産師や保健師、管理栄養士と対応を分担している。現在、予約制としており、滞ることなく実施できているため、問題ないと考えている。

キ 子どもの貧困対策事業

- ・子どもの居場所づくり補助金の見直しについて、どういった方向で見直しを考えているのか。

⇒補助金上限額（12万円）の増額や、補助金の対象となる活動内容の拡大を考えている。

ク 福祉体験事業（児童・生徒）

- ・認知症サポーター養成講座は、地域包括支援センターが

	<p>行っている講座と同じものか。</p> <p>⇒地域包括支援センターのキャラバンメイトの方々と一緒に、高校生座談会の中で行ったものである。</p> <p>ケ 災害ボランティアセンター運営事業</p> <p>質疑等なし</p> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活福祉基金の貸付事業は、コロナ禍での特別貸付だと思うが、返済が難しい世帯が多いのではないかと考える。返済に関してのアフターフォローや他団体との連携、返済の進み具合等を次回の会議で報告してもらいたい。
問合せ先	保健福祉課 福祉政策係（TEL：８５－７１１８）
その他の事項	なし